

2020 年度（第 18 回） 建築・住宅技術アイデアコンペ

提案タイトル		住宅総合展示場の災害拠点化
提案概要 (200 字程度)		住宅総合展示場の会場全体を災害拠点とする。 そのための規程や設備、備品を整備し、災害発生時には地域に開放する。日常的には防災意識を高めるイベントを実施して近隣住民を呼び込み、家づくり時以外でも会場へ足を運んでいただくことで身近な災害拠点として認知してもらう。 住宅総合展示場の持つメリットを活かし、有事に近隣住民のための場を提供することは、ハウスメーカー全体としての社会貢献や地域貢献に繋がるだけでなく、新たな顧客や需要創出にも繋がる。
提案ポイント	① 新規性	現在、住宅総合展示場には統一した災害時の規程はない。会場や運営会社によって建物建設時の防災関連の規程を設けている場合等もあるが、備品や有事の対応まで統一して決めているものはない。今回を機に統一した規程および備品整備まで実施する。
	② 実用性	平置きのお客様用駐車場を有することが多いため、有事の際に広い避難場所として炊き出しや給水車の給水場所となる。会場内の住宅(展示場)各所は、有事の際に大空間に大勢が身を寄せる体育館や公民館等に比べて温熱環境やプライバシーも確保しやすい。
	③ 異業種関連度合	ハウスメーカーだけでなく、設備メーカーや防災用品メーカーからの協力・連携が不可欠となる。また、各地域の消防や自治体との連携も広く必要となるため、各地域とハウスメーカー各社が連携するきっかけにもなり得る。
	④ 建築や社会に対するインパクト	広大な敷地を有する場合の多い住宅総合展示場が、災害時に備えて設備や備品等を整備して、平常時に防災イベントを実施したり有事に地域へ開放したりすることは、ハウスメーカー各社がその特長を活かして行う社会貢献、地域貢献となる。

提案ポイントについて

① 新規性	： 「従来の建築・住宅技術」に対する新規性について述べて下さい。
② 実用性	： ご提案のアイデアが、学術研究や情報の蓄積や整理の範囲にとどまらず、都市・建築空間で実地に用いる、あるいは実際に役立つ点を述べて下さい。
③ 異業種関連度合	： コンソーシアムの特徴として異業種連携による研究活動をうたっています。ご提案のアイデアが、研究活動における異業種関連度合について述べて下さい。
④ 建築や社会に対するインパクト	： 生活や産業経済、建築空間に対する影響など、研究目標が達成され、成果が実用化された場合の建築や社会に対するインパクトについて述べて下さい。

※ こちらにご記入頂いた内容も審査の対象となります。提案ポイント項目は審査評価基準に基づきます。

住宅総合展示場の会場全体を災害拠点とする。

そのために規程や設備、備品を整備して、災害発生時には地域に開放する。また、日常的には防災意識を高めるためのイベントを実施して近隣住民を呼び込み、家づくり時以外でも住宅総合展示場へと足を運んでいただくことで身近な災害拠点として認知してもらう。そして災害についてともに学び、非常時に地域に貢献できる場を提供する。

現在、住宅総合展示場には統一した災害時の規程はない。会場や運営会社によって建物建設時の防災関連の規程がある場合もあるが、備品や有事の対応まで統一しているものはない。

また、会場は大きな敷地を有する一方、近隣住民にとって親しみやすい場となっていないことが多い。

住宅総合展示場の持つメリットを活かし、有事の際に近隣住民のための場を提供することは、ハウスメーカー全体としての社会貢献や地域貢献に繋がるだけでなく、新たな顧客や需要創出にも繋がる。

やること(災害時)

- ・ 炊き出しや給水車の供給場所としての提供
- ・ 展示場の各階を複数の家族に1~3泊無償提供
(宿泊日数に上限を設けることで、より多くの方に宿泊いただく)
- ・ 各社からの従業員派遣

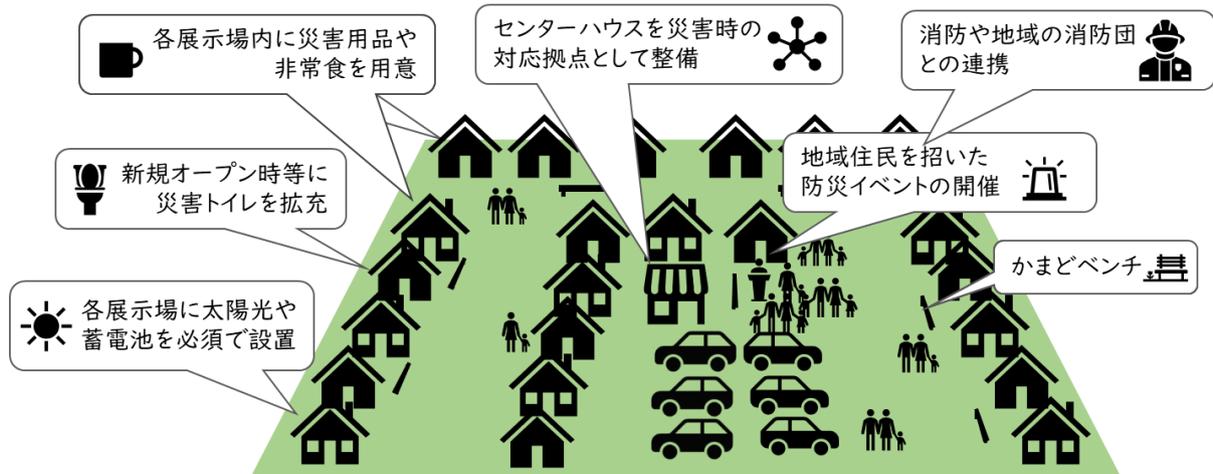
やること(平常時)

- ・ 災害対策イベントの開催(地域の消防、消防団との連携)
- ・ 災害対策用の設備、備品の拡充(規程を決めて、各社で実施)

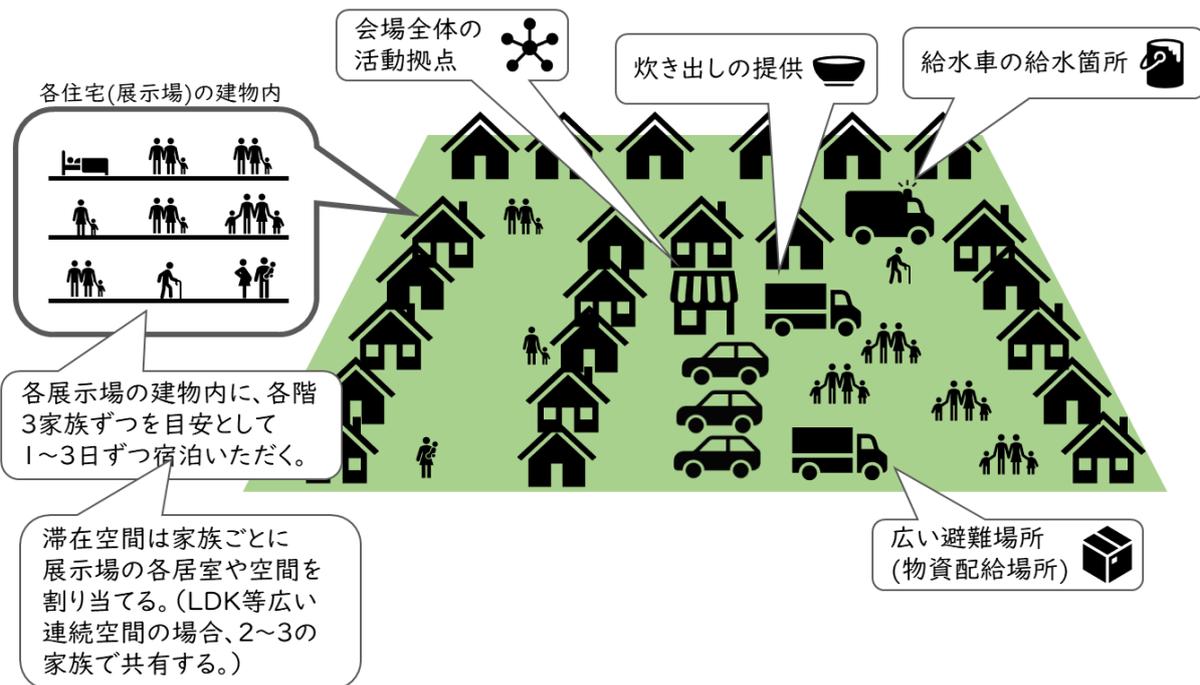
メリット

- ・ 平置きのお客様用駐車場を有することが多いため、広い避難場所になる
- ・ 展示場の各建物内は体育館や公民館等に比べ温熱環境やプライバシーも保ちやすい
- ・ 最新住宅を体感してもらえる
- ・ 太陽光や蓄電池もある
- ・ 災害トイレやかまどベンチを活用できる
- ・ 住宅総合展示場を地域住民に身近に感じてもらえる

《平常時》



《災害時》



試算

3階建の展示場が15ある会場で、各階に3家族が2日間宿泊することを14日間実施したとして、
 $3 \times 15 \times 3 \times (14 \div 2) = 945$ 家族
 1家族4人として、 $945 \times 4 = 3780$ 人を災害時に1つの住宅総合展示場の建物内で宿泊してもらえる。